

二胡界に嵐を呼ぶ黒衣の胡琴四重奏ゼノ・カルテット
ゲストに古箏の伍芳を迎え、中国伝統楽器の新しい世界を現出。

ゼノ・カルテット Xeno Quartet

<http://huqin.cn1.jp/xeno/top.html>



2012年結成。二胡・中胡・革胡という音域の異なる胡琴類による編成で、演奏技術を駆使した迫力あるアンサンブルを目指す。近年本格的に始まった胡琴重奏という流れを受け、二胡現代曲やロックなど新しい分野に挑戦する意欲的なグループ。13年第14回中国音楽コンクール特賞（第一位）及び中華人民共和国駐大阪総領事賞を受賞。同年アンサンブル・フェスティバルひょうご 2013 にて兵庫県議会議長賞を受賞。2014年第15回大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門にて第一位、グランドファイナル＝ガラコンサートに出演。



鳴尾 牧子 (1st二胡)

神戸市出身。日本二胡界の草分けの一人。これまで国内外のコンクールで最高位を受賞。伝統に対する深い理解とそれに基づく斬新な発想とで二胡界に新しい風を吹き込む。聶靖宇、王永徳等著名な教育家に師事。



川野 真広 (2nd二胡)

奈良県出身。国内外のコンクールで最高位を受賞。ソロ、デュオ、オーケストラ等様々な形で活動を展開。魂の二胡奏者として、その深い表現に定評がある。浄土宗僧侶。浄土宗芸術家協会会員。華夏音楽学院講師。



森 敦志 (中胡)

北海道出身。しなやかな感性と持ち前の胆力を武器とする期待の新星。二胡奏者として関西及び北海道で活躍するとともに、中胡のエキスパートとして演奏技法の研究を重ねる。
12回中国音楽コンクール銀賞及び神戸市長賞受賞。



重松 涼子 (革胡)

大分県出身。大阪音楽大学器楽学科チェロ専攻卒業。チェリストとしても活躍する一方、世界各地の民族楽器との共演も多く、中国、モンゴル、北欧、邦楽とその活躍は多岐に渡る。日本で数少ない革胡奏者として注目される。

SPECIAL GUEST



伍 芳 (ウー・ファン)
【中国古箏奏者】

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も難関といわれる上海音楽学校に入学。古箏を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く勉強する。1990年7月同校を首席で卒業し、来日。

1996年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における現在の中国楽器ブームの先駆けとなる。南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。皇太子御夫妻の御前での演奏など、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサクソ奏者、KENNY G のジャパントツアー全箇所ゲストとして呼ばれる。

近年、教育活動にも積極的に取り組み、古箏教室を開き古箏の普及にも努めている。2010年上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷である上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。

2015年1月14日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あのひとともに」を発表。

引き続き2015年4月15日に通算11枚目のアルバムを発売予定。5月10日神戸朝日ホールでアルバム発売記念コンサートを予定している。

また、2011年4月10日からは、ABCラジオにて毎週日曜日の朝8時40分～9時まで「伍芳 (ウー・ファン) のふらっと♪阪神沿線」でパーソナリティを務める。中国の古典、現代曲だけにとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。

Official Website <http://wufang.com> <http://www.facebook.com/WuFangOfficial>